



20周年

占い蓮

2022 年初春号

占い蓮会報 vol.25 2022年2月発行 占い蓮（関東現代易占学研究会）／日本皓導流
加持祈禱神霊学会本部／WHEEL of FORTUNE REN 株式会社
〒167-0053 東京都杉並区西荻南3-10-6 西荻スカイビル5F
TEL 03-5941-5921 FAX 03-5941-5926
【ホームページ】https://uranai-ren.com 【e-mail】info@uranai-ren.com



中村皓導先生のお言葉

身を清め新たな気持ちで苦の中にも
幸せを見出そう。

置かれていた環境でどれだけ幸せを

感じるかが鍵となるか、

満たされるかが鍵となる。

会長 中村皓導



22歳で重病の床に伏し生死が危ぶまれる状況に。
しかし入院先で「姫神山（岩手県）に登って祈れ」と啓示を受けました。病身で山に登るのは楽ではありませんが、頂上に辿り着いたことに達成感と喜びそして幸せを感じました。一切の飲食を断ち終夜祈る時、光を得、病は奇跡的に快方に向かい今に至ります。

もしもあの時、命の危機を嘆き苦しみ生きる意欲を失っていたら今の私はいないでしょう。幸せは与えられるものではなく、自らが見出すものなのです。

20周年のあゆみ

占い蓮は2001年8月11日に「占い喫茶蓮」の名前で吉祥寺にオープンしました。

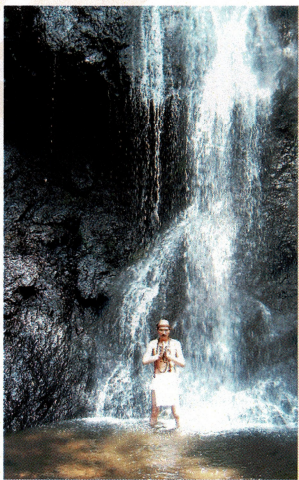
当時中村会長は報道関係の仕事で世界中を相手に仕事をしていましたし、日本のご僧侶のみならずスリランカでもご僧侶の指導をしていました。ハードな毎日でしたが、そこには託された思いがあったそうです。

会長が師と仰ぐ今は亡き松本和尚から「一般の人を救う担い手になり、たくさんの方々のためのお店を構えてほしい」と導かれてオープンしたのが「占い喫茶蓮」だったのです。名前の由来は蓮が泥沼から花を咲かせるように「一人でも多くの方が泥のような悩みの淵から可憐な花を咲かせるように」と願いを込めて名付けています。

お店が吉祥寺にあった頃は「占いの店には入りづらくてもコーヒー一杯を理由に気軽に来店できるように」と喫茶営業もしていました。カレーにピラフ、スパゲティと昔ながらの喫茶メニューがずらりと並び、スタッフの朝一番の仕事はゆで卵作りでした。「ここに来ると癒やされる」と開店から閉店まで過ごされるお客様もいらっしやう。スタッフは一日中カウンターの中心で話し相手になっていくことも……。2002年の8月には今年では年中行事と



オープンの時 紀村導佑先生



滝修行 中村会長

なっている滝修行を開始。日赤の献血ルームでのボランティア鑑定は今も鑑定師育成の場として月2回使わせていただいています。

2006年には夜通し囲碁が打てる暮会所から依頼を受けて夜中に囲碁を打つ方々を相手に占ったこともあります。鑑定用のブースを作ってもらってそこで一晩中待機するのですが、時には眠さと寒さでどうにもこうにも困った思い出……。明け方近くには軽く軽食がともおいしかったです。紀村先生からの縁で始まった保険会社からの占いイベントのお仕事は今でもお声をかけていただきます。

2007年日本三大霊場である恐山登拝。立ち込める硫黄臭と辺りにみみずる異様な雰囲気の中、会長が指を指された方向をカメラで収めた青い霊魂の写真は教室にずっと飾ってあります。山の頂上から降りてきた霊魂達が青い光となり、癒やされ、また山に登る様子がくっきりと写し出されていてとても不思議です。

宿泊先の旅館にお二人のイタコさんが居たのですが、お一人の方が語る内容があまりにもドンピシャで早くに亡くなったお母様の霊を降ろしてもらった方などは号泣されていて見ていた私たちが涙が止まりませんでした。

2008年には初めての台湾旅行。

2011年には山形県月山登拝。空海の生涯を描いた手作りの紙芝居を楽しんだり「紙芝居には駄菓子でしょう！」と車中で駄菓子売りをしたのも良い思い出です。紙芝居の最後には空海が修行先の唐から日本に向けて三鈷杵を投げるというシーンがある

なのですが、なんと布で作った三鈷杵を運転中の会長に皆の方へ向かって投げてもらいました。皆、大笑いでした。確かそれを受け取れた人には更にプレゼントがあったかと思っています。



月山に向かう車中の紙芝居 安井秋皓先生

2009年中村会長易聖授与。「易聖」は易の聖という易界最高の称号であり、宮家との縁が深いものです。会長は60過ぎてこの称号を得ましたが、家柄・学歴など、もろもろを加味した中ですでに大学時代にはその候補になっていたと伺っています。

私たちはホテルでお祝いの会を開催し、たくさんの方々に越えさせていただきました。スタッフ側と致しましてはいまだに「ああしておけばよかった」と思うことと多々ですが、祝賀会にご参加していただきましたお客様には感謝の思いしかありません。

2009年「機が熟した」と神霊講座開講。お店のオープン前に皆でお経を上げてはいましたが、この時から私たちは本格的に密教に触れることになりました。本当はこの授業こそを会長はずっと実行したかったのですが、私たちにそれを受け入れる器ができていなかったたので9年という歳月を待っていてくれたのです。

2011年に蓮は西荻窪へ。たまたま西荻窪駅に降りた会長が目の前ビルに貼られた「テナント募集」のポスターを見つけて「ここだ！」となり、即移転が決まりました。ビックリするような早さで引越すこととなり、お弟子の皆さんの協力も得て私たちは吉祥寺を後にしました。西荻窪では喫茶営業をやめて「占い蓮」と名前を改めました。

2014年岩手県の姫神山登拝。この山は会長が22才の時に病身の体で登り光を得た山。真つ暗闇の中、一晩中そこに座っていたそうです。場合によっては獣に襲われる

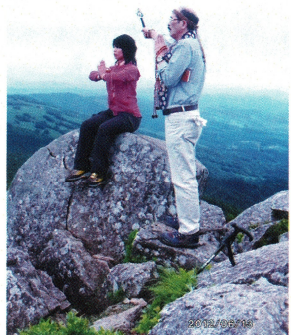
こともあったかもしれません。実際クマの目の光のようなものを見たそうですが、会長は座り続けたのだそうです。そして満天の星の下、輝く光が全身に降り注ぎ、今まで経験したことのない温かさを感じそれが会長の生きるエネルギーと神通力となりました。参加者たちは会長がかつて座ったという大きな岩に座り、それぞれが神秘体験をしました。

割烹美好（埼玉県・所沢）での開運セミナー、中野サンプラザでのセミナーでは少しでも多くの方が仏教に触れる機会を作っていききたいとの思いから多彩な企画を用意。阿字観や梵字の講座、会長の描いた菩薩の絵に色鉛筆で色を塗るなど好評を博しました。

2019年には割烹美好内に占い蓮の本堂落慶。一般の方々には月1回瞑想坐禅会を開催。神霊受講者たちはこちらで夜行もしました。20年の歩みは今振り返るとあつという間でしたが、書ききれないほどの思い出がたくさんあります。

20年を境に占い蓮は更に大きく変化しようとしています。コロナウイルスの発生により、営業自粛を余儀なくされた時期もありましたが、終わりゆくものが整理され新たな未来に向かうものが進む世界ができつつあります。中村会長がたくさんの方々に救う思いでオープンしたこの店で、私たちは成長し、またここからたくさんの方々の花が咲くことを願っております。ご最下さる皆様方に改めまして感謝申し上げますとともに、今後変わらぬご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

占い蓮 スタッフ一同



月山山頂 左：石川敬皓先生 右：中村会長

皓導流一門弟子紹介

辻占

「辻占い」とは昔の占いのひとつ……夕方の道辻に出てそこを通る人々の言葉を小耳に挟み、それで占いをすることです。

現代は道辻で佇み人の話を聞くこともないので、私はふとした時の言葉で心に刺さる言葉は神様がくれた答えかも……と参考にすることが多いです。

これは私流の辻占いです。あれもこれもやるべきことがたくさんあり、でもどれから手をつけて良いか分からず、結局何も進まない状態でした。そんな時、つけっ放しのテレビから流れてきた名も知らぬ音楽家の言葉。

「音楽は難しいから来世にまた音楽に関われるかわからない。だから今生きているうちにやれることを、やれるだけやっておくんだ」

この言葉が耳に入りハッとしました。今できないことを来世に先延ばしすることまでは考えていなかったけれど《今やれることを、やれるだけやっておく》という発想はありませんでした。やれるところまで（完成しない）＝結局できない、挫折と捉えていたから。

手がけたことが目指すところまで出来上がらないとき、やる気は失せてしまい、まだ力は残っている、無駄だと思おうと努力しなくなります。でも



タロット解釈

大アルカナ0 【FOOL／愚者】

個性的な衣装を着て空を見上げた1人の少年が崖の上に立っています。彼の足元には白い犬が描かれていて、じゃれてまわりついているようにも見えますが、犬は必死に彼が進もうとする先が崖で危険であることを知らせています。彼はきつと「うるさいな。何をそんなに吠えているんだろう」と思っていることでしょう。

常識的にこの絵を見たら「崖にいるのに前に進もうとするなんて危ない少年だ」と思うでしょうし「そんな小さな袋だけで冒険に行こうとするなんて無謀で世間知らず！」と思うことでしょう。

けれどそれは常識的な話。彼には彼にしか見えていない世界があるのです。私たちはこの絵を見るときにどうしても常識という額縁で見えてしまいますが、彼はその枠組みから解放された世界にいます。もしかしたら彼の足元には魔法のじゅうたんのようなものがあるかもしれません。小さな袋には宝石より価値あるものが入っているのかもしれない。

このカードは常識と自分の意見が違うことを表すので、「自己判断への警告」という意味があります。確かに常識の枠で生きていくことも大事ではありますが、それがあるばかりに自分の可能性の芽をつぶしてしまっている場合もあるでしょう。あなたの内なる可能性を広げるためにも常識の枠を飛び出し、冒険を始めませんか？ そこにはあなたにしか見つけることのできない、素晴らしい世界が待っているでしょう。

も今やれるだけやっておけば気持ちいいこりります。それで離れて（挫折）しまっても、何年後に再開して完成できるかもしれない。完成しなくても精一杯頑張った自分を認めよう。結果でなく、現在を精いっぱい頑張ることが大切なんだなという思いに至りました。

お陰様で今あるたくさんのやるべきことを「ダラダラ先延ばしせずにやり抜くぞ！」という意欲が湧いています。



紀村導佑
皓導流一番直弟子
WHEEL of FORTUNE
REN (株) 副社長
人類心理学博士
神霊学士国際認定資格
易学、手相、四柱推命
学、九星気学講師
カルチャー講師

易占に導かれて (三)

易占卦第十一番 地天泰

(天と地は交流する)

年頭に当り、正月（陽暦2月）の消息卦。天と地は互いに心を通い合わせ、共に万物を生成させようという、志す処はひとつ。舞い降りる天の気が地に至り、湧き上がる地の気が天に至る。交流の極み。當に、新たな運気の始まり、ということのようです。

因つて、人は泰然と其の流れに遵い、新たな環境に順応すべし、ということでしょう。この卦を「安泰」と捉え、積極的に前進できる、との解

釈もあるようですが、安泰なのは飽く迄も現状であり、先々の吉運ではない、との解釈が妥当であると思われます。

実際、占つて地天泰が出たこれは大吉だ、と悦び勇んで好き放題に進んだら、大失敗に終わった、という事例が多く有るそうです。やはり、天地の静謐と人の慾とは相容れないものなのだ、ということかも知れません。

自然・神とは、本来、人間の傲慢を戒める存在のはず。一見吉、と思われる易断は、寧ろ警告と捉えるべきではないかと思えます。そもそも、人には、何事も自分に都合良く解釈する「樂觀バイアス」があるようです。

先人の言葉、偶然に逆らわず必然を求めず。また、有るをば有るとし無きをば無しとす。

合掌礼拝

直弟子 野村榮仙

11月25日神霊資格認定者 で祈祷会を開催しました



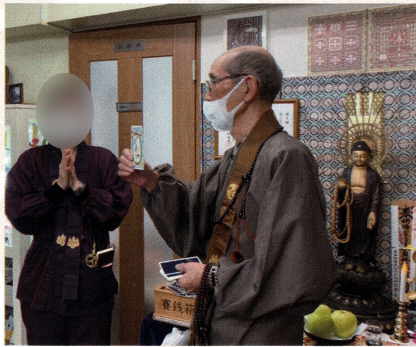
当会では中村皓導会長による「神霊授業」があります。会長がその昔高山野山において祈祷を学ぶために選ばれた特別な僧侶の方々に指導していた内容で、神なる力で人々をお救いするための祈祷法を厳選して教えて下さっています。この講座は

当店がオープンして9年目に「機が熟した」と初めて開講されたもの。開始当初から10年、11年と経ちますので、神霊学士国際認定資格を取得した方も多く、第一線で活躍しています。

祈祷は「精神不安定の方へ祈祷」「原因不明の痛みの祈祷」「妊娠祈祷」「成功祈祷」「合格祈祷」「霊を鎮めるための祈祷」など多種多様。その中に「神なる力を得るために11月25日にする祈祷」というのがあります。この日は西洋では神からメッセー지를いただくのに大切な日なのだそう。緊急事態宣言も解除されましたし、集まれる人だけでと呼びかけましたら、19時からという時間にも関わらず10人の神霊学士国際認定資格者の先生方が集

まって下さいました。

皆で作業衣に着替え、袈裟を付けピカピカに磨いた法具を持ち、導師中村会長の下、お経を上げました。釈迦如来像前に2人ずつ座り、祈祷をしていく姿は圧巻でありました。実はこの日初めて知ったのですが、この祈祷はこの日にだけやればよいのではなく、これから続けることで更に力を得ることができるとのこと。ちよつと課題ができてしまいましたが、皆これからもやる気満々で帰られました。これから中村会長の下で育った神霊学士の資格を持った先生方が、更に研さんを積み、神なる力を得、人々のための担い手となつていくことでしょう。

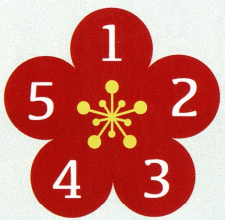


中村会長はじめ、集まってくださった先生方、お疲れ様でございました。そしてどうもありがとうございました。

佐々木皓咲

開運

ワンポイント占い



①～⑤から一つ数字をお選びください。選んだ数字が示すカードが運気アップのメッセージになります。



①**塔** やや疲れ気味かも。このまま無理に進むよりもエネルギーチャージ。改めて未来構想を練りましょう。



②**女帝** 結果を急ぐよりも基盤が大事。女性の方は美しさに磨きをかけて。男性の方は周りの女性を大事に。



③**魔術師** 新しいことを始めるのに吉。必要なものは全てあなたの手にあります。思い通り進みましょう。



④**女教皇** 時を待つことも大事。徐々に開運しつつある時。直感が冴え、情報収集、勉強もはかどります。



⑤**隠者** 神の杖はあなたの手に。神仏を大事にすることで更に開運します。内観、瞑想もお勧め。

20 古い蓮 周年記念

中村皓導会長の伝画Tシャツ・古い蓮お守り
お陰様で古い蓮は20周年を迎えることができました。これもひとえに当店を支えて下さった皆様のお陰と心から感謝申し上げます。20周年を迎えるにあたりスタッフ一同丸となり、皆様の期待に応えられるよう更なる飛躍を目指して参ります。皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第1弾



Tシャツ

中村皓導会長の描いた伝画、七母女天観音をTシャツにしました。色はホワイトとアッシュ（グレー）の2色。サイズはMのみですが、大きめなのでゆったり着られます。

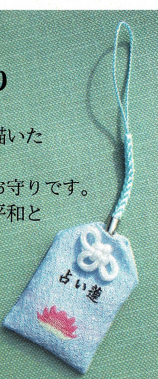
サイズ/M 色/ホワイト、アッシュ
一般価格/5,000円
会員価格/4,500円
※Tシャツは店内に見本があります

第2弾

古い蓮 お守り

水色の柄にピンクの蓮を描いた心願成就のかわいらしいお守りです。皆様の幸せと平和と安寧の願いを込めて作成いたしました。

一般、会員
共に/600円



毎月第4土曜日開催

所沢瞑想坐禅会

毎月第4土曜日、所沢割烹美好きさんに人数限定で開催。参加者にお食事の割りあり。

蓮道場

割烹【美好】内 埼玉県所沢市有楽町13-8
参加費 2,200円
午前の部：11:30～12:30 / 午後の部：13:30～14:30
問い合わせ・申し込み TEL 03-5941-5921 古い蓮 ※要予約

ご祈祷を申し受けております

額値：7,700円から

厄除け、家内安全祈願、方位除け、心願成就、その他のご祈祷
詳しくはお問い合わせください。